

JR東海労ニュース

米高速鉄道計画・こんどはテキサス州へ フロリダで失敗！次は大丈夫なのか？

3月1日インターネットの記事によると、米国フロリダ州の高速鉄道計画そのものが完全白紙に戻り、JR東海は、再びテキサス州などを次のターゲットに新幹線システム受注の実現を目指すと伝えています。すでに2月16日、フロリダ州のスコット知事は「限度を超えた資本投下が州民への負担増を生む可能性がある」「乗客数見込みが楽観的過ぎる」「計画が途中で中止された場合、州は連邦政府に資金を返却しなければならない」などと計画を中止することを発表していました。JR東海は、この事態を受け、新たな売り込み先をテキサスに絞ったということです。

さらに記事によると、葛西敬之会長は、「フロリダの計画は白紙になったが、新幹線の売り込みに向けて取り組んできた米コンサルタント会社2社とは信頼関係ができ、今後もその関係を生かしていく」と話し、新たな売り込み先としてあげるテキサス州などでの受注活動でも、連携の可能性を探ると報じています。そのために、現地での人脈づくりも進めて、米国での新幹線の売り込みを優位に進めたい構えであるとしています。

ところで、今のJR東海には、海外に高速鉄道を売り込むために投資するよりも、他にやるべきことがあるのではないのでしょうか。

例えば、この春から導入されたATS-Pは、投資すれば改良の余地は多くあります。在来線ホームの安全策もほとんど未設置です。鹿対策もあります。より質の高い安全性向上のために投資すべきではないのでしょうか。

JR東海はあまりにも自信過剰です。フロリダ州の失敗の原因を究明せず、いとも簡単にテキサス州に移る姿勢は、どうみても危険すぎる賭ではないのでしょうか。無謀に突き進む経営戦略が、途中で行き詰まりダメになった場合、誰が責任を持つのでしょうか。

**自信過剰のJR東海経営陣、
やがて経営失敗の危険性が？**

フロリダ高速鉄道白紙
（ニューヨーク）青 整備計画に対する連邦柳知敬一米フロリダ州政府の補助金を拒否したスコット知事（共和）が州内の高速鉄道問題で、同州最高裁は四日、知事への補助金受け取り命令を求めた上院議員一人の申し立てを却下した。これにより、JR東海などが新幹線の売り込みを図ったフロリダの計画は完全に白紙化した。スコット知事は先月金受け取りの回答期限だった同日、ラフォード米運輸長官と電話で会談し、受け取りを拒否する意向を正式に伝えた。ラフォード長官は会談後、「州民の経済的利益のため、（連邦予算による）追加支援に乗り気な州は全土にあ

この声明を発表。フロリダ向けに予定していた二十四億ドル（約千九百八十億円）の補助金を借州に回す方針を示した。スコット知事は先月十六日、過度な資本投下は州民の負担増を招くとして補助金拒否を表明。これに対し州議会が決定した計画を中止することは知事の権限を越えているとして、同州の民主、共和両党の上院議員一人が今日一日、受け取り命令を申し立てていた。

計画中止は知事の権限を超えるとした米議員の訴えも棄却された。